〔日曜祭日休刊〕第三種郵便物認可　昭和十一年二月九日　磐城新聞　第四千五百四十五號　〔一〕

夕刊
磐城新聞
二月八日發行
日曜祭日翌日休刊
定價 一ケ月金六拾錢 郵税共金七拾五錢
廣告料 一行金拾錢 五行以上一行毎金八拾錢 特別廣告 一行金拾五錢 五行以上一行毎金壹圓
發行所 磐城新聞會社 大正十五年二月十八日 第三種郵便物認可 磐城郵便局 電話五六番 磐城市平町二丁目

虫にをしへられる

清野重郎

一

アンリ・ファブルの昆虫なはたらきが蟻や蠅などに記を讀むと、赤蟻にはたくはあるのだ ましい記憶力があり、それんど靈感とでも言ひたやうに視力と嗅覺とが異常に發◇達してゐて、餌物のありかを嗅ぎつける敏感さと、ひ水を飲まうとして、厨下り立つたわたくしは、ふとたび餌物を嗅ぎつけたらさらに上り段から柱を上つ最後、どのような邪魔物がて、閉めきりにした戸棚の這入つてその進路を妨げようと、必ずまたその餌物の頭りに出たり這入つたりしありどこを見つけ出さずにてゐる蟻の行列を見て、不は止まないねばり强さがあ服さうに妻に言つた ると言いてゐる 『この蟻がわからないかよ

◇ 何か甘いものでも置いてあるんぢやないか』

わたくしは、このやうな 日曜、神經質で、潔癖な砂粒はどのかすかな虫けら わたくしの小言がまた始つに、果してそんな鋭敏な、て來てうるさく食物皿の上人間にも——さうだ、人間を飛び廻る蠅の如きでもさにも到底及びもつかない感うだ。どうしてこのやうな覺があるのだらうか、ぞう微妙な感性が、すべての動してそんな感覺を有てゐる人間にはなり物に優つてゐる人間にはなくて、こんな小つぽけな虫けらにあるのだらうか。造化の靈妙なはたらきは、わたくし達人間の思惟をゆるさない神秘なものだが、殆

それは蟻ばかりとは限らない、食事の時を豫知してでもゐるかのやうに、よく夏の頃になると、どこからともなく風のやうに這入つて來てうるさく食物皿の上を飛び廻る蠅の如きでもさうだ。どうしてこのやうな微妙な感性が、すべての動物に優つてゐる人間にはなくて、こんな小つぽけな虫けらにあるのだらうか。造化の靈妙なはたらきは、わたくし達人間の思惟をゆるさない神秘なものだが、殆

合宿

茂木紅梅

誰も迎へてくれる人はないが
合宿は俺を三年育ててくれた
可愛いいところだ
腹一杯自由を許してくれる所だ
一人ぼっち
俺の世界には光明がない
目をあけてゐても何もみえない
みようとしてもそれは神經を光らすばかりだ
みえないものなら
一そみない方が宜いだろう
默つて合宿にねむつておらう
暗闇ばかりが世の中ぢやあるまい

哭大越原町校長

珠雲 小野務拳

菩我多歲德辭全
門下頻看出俊賢
惆悵商人天壽短
溯風冷逝北邙煙

講談

黃金魔刀

(71) 商桑義生作

七曜星の光 (六)

樋口悦也畫

それがこの男の本心であらう——と十郎は思ふ

破滅の淵にひんしてゐる者は、何をやり出すかわからない、この男は、危險も何も考慮する餘裕がないのだ。無理もない、けれども、それでは大事をなすことは出來ないであらう、あまりに無謀な言動である、もしも聽き入れが田沼方の者であつたなら、どうなるか？この男は恐らく純情生いつぽんの性質で、さうしてよほどの小心者だ

十郎はしば〳〵前後を見まはした。話す者より聞く者の方があたりに氣を配つてゐる、びく〳〵してゐるまだ時刻は早い。宵のうちだ。幸ひ人の影も見ないがいつまでもくツ附いて來られてはやり切れない。彼はひそかに苦笑した。相手はかまはずつゞけるのである

『正氣の沙汰とは思召さぬかも知れぬ。それほど突きつめた拙者の氣持ちや、拙者は貧によく忍耐しました洲が大さう繁昌してゐるさうだが表構へだけでも見て置かうといふ氣になつた。で、いかめしい築地塀の角にさしかゝつた。と、横手からフイと人があらはれた。頭巾に顏をかくした二人の武士。かれは十郎の左右から、かれらをはさんで、ジイッとその顏をのぞき込んだ

十郎はギョッとして身が

『貴殿も彼奴等父子には充分御注意なさるやう』

『有がたう』

『では、失禮仕る。御堅固つた

木挽町に田沼の下屋敷のある事に聞いてゐる。十郎

十郎は駕籠を下りて駄賃をやつた。駕籠は歸つて行

雜詠

平澤俊子

○夕燒の空のうれしき明日は久しき友の訪ね來るてふ

○コスモスの咲く色みれば一もとを吾れにあたへし友偲ばるる

○寢靜まる頃を起き出てて書讀みぬ夜汽車の音を遠く聞きつつ

○弟と留守居しをれば小夜更けてラヂオの聲はひくくさみしゐる

○炬燵火はおとろへゆきて夜くたちぬ待つ父母は歸りおそしも

帝大に入るまで

西原卓樹

三

そして取敢ず受けてみることに同意しました。時日もないので準備は恐ろしく疎漏なものでした。したがつて何の問題に對しても迎も滿足な答案は書けません時も私の師と云ふのは書籍でした。殊に合格者六名の中最初に合格證を受けたと一語で只ヂーンと鳴つてゐました

思議にも二回に振落しにもあひました。最後の口頭試問まで漕ぎつけたのですが、實力のないものは結局駄目でした

××中學に敗れて三月からその十月まで、私は大いに努力した積りでありますなりました。そして同じ道志すらしい誰彼の燃心さを見ては自らを鞭ち、怠惰を見ては己を警めました。實際に試してみる十一月は

暗記物は晝間作製したエキス（要點書拔）を、夜間の配達中に軒燈から軒燈へと光をつないでやりました一方私はその頃から中之島の圖書館へ毎日通ふやうに時は年にも恥ぢず矢張痛快でした。殊に合格者六名の伊織に逢つて役目を果した事、宿へ歸つたところで仕方がないと思ひ、江戸へ行つたら吉原へも行かう、中

到來しました。『雪辱成る』か、成らざるか』之を想ふ夜間で私は一種の感慨なきを得なかつたのである。試驗には隨分ひどい間違もあつたのであるが、合格と分つた時は年にも恥ぢず矢張痛快でした。殊に合格者六名の中最初に合格證を受けたと伊織に逢つて役目を果した事、宿へ歸つたところで仕方がないと思ひ、江戸へ行つたら吉原へも行かう、中

『妙な男だ……』

月の光に、まざ〳〵照らされて、遠くの男の姿が、いそいそと歩み去つた。十郎は立ち止つて、しばらくその後姿を見送つた

相手は踵をめぐらして、

『では、失禮仕る。御堅固つた

『失禮』

急告

四日夜來ノ大風雪ノ爲弊社送電線ヲハジメ配電線引込線其他ニ約八百餘件ノ事故發生致候、當夜ハ寒風强ク降雪ヤマズ自轉車キカズ步行困難ニテ活動全ク意ノ如クナラズ全員死力ヲツクシテソノ復舊ニ相勉メ候ヘ共不可抗力トハイヘ遂々御迷惑相掛候儀誠ニ申譯無之恐縮ニ奉存候乍延引事情申上ゲ御了解御願ヒ申度御詫旁々御挨拶申上候

昭和十一年二月六日

株式會社 東部電力 平營業所

四倉變電所

需要者各位

新車披露

スバラシイ乘心の良い一九三六年式流線型新車入車致しました。
商用に！、旅行遊山に！、婚禮！是非御利用を願ます。

平町三丁目
セリザワタクシー
電話三九五番

磐城代表的の土産品

山。靈峰羊羹 里。柿羊羹
海。のり羊羹 各一本 金十錢
右美麗三本箱入 特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土産品です
小寶御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川鄕驛前 平屋賣店

電話至急買入度し

平町二丁目
日東商會
電話四二八番

名湯 鹿の湯

湯之網鑛泉

二百餘年の昔、病める鹿が浴してゐたといふ鑛泉!! 昭和の今もこん〳〵と溢れ湧いて、バスを降りれば半里位の山間に、美しい風光と共に、浴客をお待らして居ります。
効……神經衰弱、神經痛、リウマチス
能……胃腸病、子供の蟲氣、婦人病
○平町から日歸り御入浴もラクです。
○關本驛、磯原驛からバスの便あり。
○關南村役場で、御案內致します。
○自炊なさる諸道具とともにつてゐます。
茨城縣多賀郡關南村湯之網
（女中募集） 元湯 松屋旅館 親津さよ
◎御滯在、團體は割引致します。

前田醫院

院長 前田清美
植田町電話一二四

松村醫院

院長 松村鐵郎
平町南町電一〇七

高久病院

院長 高久忠
平町田町電五一三

井坂產科婦人科醫院

平町田町
電話 五五九番

靈峰羊羹

磐城名物
小川鄕驛前
平屋賣店

冬のサロン

食事、喫茶、酒場を兼ねた
男給の店
平・田町・電三五二

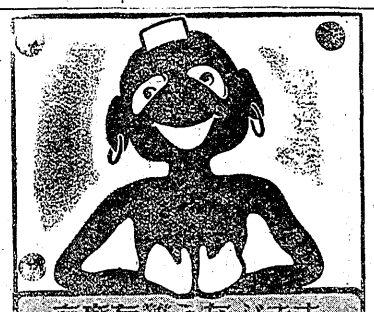
實家の靜岡產地ノ茶問屋

製產家カラ直接需用家ヘ
香味自慢生一本小笠銘茶
安價提供出來ル皆樣ノ店
買テ喜ビ賣テ喜ブ理想ノ店
卸小賣 大角園
平町振槌小路

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店
和洋銅物 金物問屋
㊄釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九番
振替貯金口座 東京一〇九五六番

確實敏捷は㊄の生命なり



時代の要求皆樣の足!!

尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ……迅速簡便
是非御利用を……。
市內……三〇錢 市外……四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行は直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。

平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

大雪で生産不足 木炭値漸騰を辿る

會津方面からの買込み人で 茲暫くは高いデス！

昨年來の天候不順と正月休みから生産能力の減退した結果漸騰を辿つてゐた地方木炭相場は今回の大雪でまた〳〵昂騰を來し數日前から一躍平均十錢高を示して各家庭のお台所を騷がしてゐる、大雨でも降らぬ限りこの雪は尚半月位は殘つてゐるだらうし、そうすれば主として郡內山間部から出てゐる平町の木炭相場も一層生産減を來して奔騰するだらうと町の卸商人に打診してもらつた處

お台所恐慌時代

何せ山から出ないので今の處は相場がないと云つてもよいがマア一般に十錢高です、品豐富の昨年中買つた商人達は商人道德上安く賣つて居るがいま買つてゐる處は已むなく高く賣らねばならないですから……會津、郡山、山形の雪國では極度の品不足から何と六割も高くなつてゐるのでいまこれらの方面から商人連がドン〳〵入り込んでみんな云ひ値で買つて行く始末ですからマア一週間や十日は高くなると見ねばならないでせう

と極めて穩かならぬお話、鎌田邊の勞働者街ではこの雪でスッカリ唯一の稼ぎ場たる夏井川改修工事を奪はれてゐるので何れも『寒いので炭は買はねわけに行かぬのに……』とこの木炭の奔騰振りを見て青ざめてゐる

野菜も高い〳〵

大雪に祟られてお臺所は益々恐慌來――地のものすら出ないので野菜の値段も騰る一方だ、町內の仲買人もテンデ買ひ受けられぬので何れも困り顏、ふだんなら出廻り出してごく新鮮な處を棄て値で買はれる場末でもこの二、三日はトント杜絶えてゐる始末、町の青物市場はあせる一方、料理屋等も少からず弱つてゐるやうだ

お米は無風地帶

お米の値段は無風地帶だと云ふから御安心の事――當本組合長さんの話しでは『地方舊來の習慣から正月中の購買力の弱いのを見越して町の商店でも舊冬中ミッチリ買ひ込んでゐるからだ』と云つてゐるから先づ安心してよいわけだ

積雪量約六寸！ 農作物に被害薄

神谷分場の正確な調べ

平局の電話線の切斷によりスッカリ『耳』を奪はれた地方も當局の懸命な努力によつて昨七日夜から一齊に復舊した、處で今回の大雪の正確な積雪量はどの位あつたか？ 平方部でこそ吹きたまり等で二尺近くに及んだ處もあつたが神谷農試分場できいて見ると平坦部の關係から十八ミリ（五寸九分四厘）＝（大雪當日午前十時調査）＝と云ふ案外な數字だが同場での調査では從來四、五寸と云ふから先づ空前の記錄だ、尙農作物の被害については――比較的少いが麥作と水田二毛作の菜種類が一番やられて野菜類は目下收穫季にあるので大した被害はなく雪に埋れての品不足から値段が騰つた位のもので目下一日も早く排雪方を督勵してゐる

無配達區域には 郵便局から有權者へ

選擧公報配布の方針

選擧公報の印刷は既に開始され、十日よりいよ〳〵發送を開始することになつたが、縣下には現在郵便物無配達區域となつてゐる部落が二十六部落ありこの中の十六部落に有權者十六名在住してゐるので選擧公報を發送の上は公報發行の趣旨により到着見込期日に管轄の郵便局に公報受取の爲有權者が夫々出頭するやう各村當局を通じて有權者に通告する方法をとることになつた、右指定となつた部落中本郡關係では磐崎村大字藤原で到着局は來る十五日湯本局ときまつた

巡回診療日割

縣衛生課の第三回巡回日割中本郡關係左の如し

十五日―荷路夫村 十六日―貝泊 十七日―石住 二十六日―川前

軍人分會の 選肅協議

來る十日平町で

鄕軍福島支部主催の管內各町村分會長會議は八日福島市、九日郡山、若松兩市公會堂、十日平町小學校において開催されるがその際選擧肅正に關して講師の中平町へは黑田社會敎育主事補と決定した

中堅農民連續講習

けふから開く

石城中堅農民連續講習は昨七日神谷農試分場で行ひ今八日から來月迄平團体事務所に縣田中技師を招き行つてゐるが受講者は百三十餘名中女生が四名あると

入山競技部を顧みて

青野輝夫記

上

昭和十年を顧りみて

昭和十年の競技部を顧みれば誠に感慨無量なものがあります

春五月磐城と雌雄を決せんとしてゐた時、不慮の變災に遇ひ將來を囑望してゐた伊川野木二君を失ひ誠に痛惜に堪ねない次第で部員の士氣をそそう致しました點も多大であると考へます

春のシーズンもこれがため遠慮して秋の明治神宮、關東實業、日立戰、仙鐵戰等に全力を傾注致すことになりましたが關東實業は御承知の如く地域の關係から出場不能となり、日立戰は百メートルに我が軍全勝してあたるべからざる意氣を表したが當時天下を惱ました十月下旬の豪雨のため阻まれて遂に中止するの止むなきに至りました

斯様なわけで第一線に屬するものゝ明治神宮出場と一般從業員諸君の體育向上並に新人養成の意味における競技會に終つたゝめ一部の強化と新人の活躍を得た點を收穫とするも第二線に屬するものゝ實力揚發の機會に惠まれなかつたことを甚だ遺憾でこの故に昨年の記錄は第一組と第二組の差があるやうになつたのも止むを得ません、次に從來の入山記錄を對照して同好者の御參考に供する次第であります

應急救濟土木事業費 本縣へ六十萬二千圓

郡內の災害地も潤されるか…… 各方面から期待さる

內務省土木局では昨年夏より秋にかけて全國を襲ふた未曾有の風水害によつて甚大なる被害を受け農村の疲弊を招いた東北その他の地方に對して應急救濟の土木事業を起すことに決し、緊急を要するものは第二豫備金の支出に求めその他は十年度追加豫算として第六十八議會に提出したところ解散のため不成立となり、その財政上の緊急處分に關する勅令案がこの程樞密院精査委員會を通過し近く御裁可を仰いで公布の運びとなつたので、これが公布と共にその總額三百七十二萬六千圓とさきに第二豫備金よりの支出によつた三百四十七萬二千圓と合し、總事業費七百十九萬八千圓として一道十縣に配當し、いよ〳〵各府縣當局を督勵して事業施行を急ぐことになつた、本事業は財政上の緊急處分によつた關係上是非とも本年度內に全部事業費を完了する必要があるので土木局では關係者を總動員し各關係府縣に特派し、事業遂行の督勵に當らしめることに決定し、一行は八日夜一齊に東京驛並に上野驛發關係地方に向ふことゝなつた、なほ本年度は道路改修及び河川護岸工事々業を主として救濟延べ人員六百二十萬人の見込みである、本縣への配當額は六十萬二千圓と決定、監督官として谷口事務官が來縣の上夫々事業を進める事となつたのでこれによつて郡內の災害地も潤されるものと各方面から少からず期待されてゐる

貨車轉覆原因に新局面

事態が複雜化して 平檢事局で取調べ

既報―湯本町寶海地內小野田炭礦專用線の貨車轉覆事件は引續き平署で取調べを急いで居るがその原因は昨報の如く乘務員の責任にもよるが、尙轉覆現場たる踏切は通行人が下駄にたまつた雪をたゝいたのでこれがため線路と踏切板が凍結した結果遂に脫線したものではないかと見られてゐるので平檢事局濱田檢事は原因究明のため七日來現場に出張取調べを進めて居り成行きを注目されてゐる

東京角力人氣旺ん

來る十一日の紀元節

當日平町に開場する東京大角力二百五十名は幕內力士の約七割を有する出羽海部屋の俊鋭揃ひなので今から土俵上の壯觀を豫想され觀覽料金の安い爲め前人氣盛んである

靑沼家寄附

靑沼家では更に平少年團へ基本金として三十圓を寄附した

山崎保安課長來平

山崎縣保安課長は昨七日選擧肅正打合せのため來郡、植田、四倉を經て今八日來平、平署で種々打合せの上歸廳した

大本教磐城支部解散

きのふ平署へ屆出

大本教磐城支部並に昭和會、神聖會、人民愛尊會昭和坤生會等同教に關係する宗教團體は七日代表者の平町四丁目中村佐治助氏が代表して解散する旨を平署に申出た

變死靑年を種に カフヱーへ脅迫狀

平署で犯人嚴探中

既報―平町南町カフェーパラダイスに於て謎の死を遂げた青年の身許は目下平署に於て引續き取調中で未だ判明してゐないに拘らず、きのふ同カフェー宛新聞原稿の校正刷りに

この青年は平町大（以下七字不明）次男友（一字不明）（二三）假名―で同人は平町某カフェー女給に現を拔かし結婚をせまつたが拒絕されてヤケになりその夜數軒呑み廻つた上同カフェーで服毒したもの、――この記事は今晩の夕刻に出るんだが若し店の信用に拘はるならば取消すが考へて欲しい

との意味の脅迫文を寄せて來たのでその旨早速平署に屆け出た、筆蹟から見て素人らしく、或は惡德記者の惡戲と見て目下同署で取調中

怠け漁船

罰金十圓のお灸

小名濱町古港二一漁業水野キヨシ（四四）は同人所有の機帆船第一好德丸その他二隻が昨年七月十三日北海道室蘭入港に際してその船首等見易い個所に掲示すべき所屬縣名並に船鑑札を掲げなかつたので此程平區より船鑑札規則違反で罰金十圓に處された

聯合青年評議員會

郡聯合青年團員三方部會評議會は來る十三日午前十時より平第一校に開き總集會開催並に決、豫算に關し協議する

故松田文部大臣

衆議院副議長として 平町を訪れし頃

二

アチラの議院內には登壇者を隔離するやうな設備はありません、そして大臣や反對派の議員が膝を突き合して談笑裡に意見の交換を試みる有様は、我國等に於て到底想像する事の出來ない和氣靄々たる光景を現出します。

それから內閣も常に多數黨を代表して組織される事になつて居まして、今回の政變の如きは大勢ロードカーゾン卿に決したのでありましたが、衆議院に勞働黨が多數を占めて居る關係上貴族院出身のものが政權を握るの矛盾を說くものが多く、各政黨もこの意味の決議文を突きつけるに至つた爲カーゾン卿は自ら身を退いて新たにボールドウイン內閣が組織される事になつたのです、斯かる意味から考へても多數黨が廟堂に立つは憲政の常道であつて之が反對の現象を見るに至つては不常道も甚しい結果を釀す事となるのです、故に憲政會が少數であるに拘らず、政權のお鉢が自分に廻るべきを以て憲政の常道なりとの身勝手な說を立てだは事實に片腹痛い次第でした 云々

×

衆議院副議長松田源治氏及茨城縣選出鈴木、市村兩代議士の歡迎會は、その日の午後六時から谷口樓で開催されたが出席百數十名に達し場外に溢れる盛況を呈した、發起人を代表して中野浩忠氏快辯朗々と挨拶をする

――本日出席された各位は當時平町に於ける代表的の有力者で常に我黨の政策に共鳴し、熱誠を捧げて居る位だから粗酒粗肴だが意の存する處を諒とせられ大に歡を盡され度い――

と遠來の勞を謝したに對し松田副議長は

――我が政友會は立憲以來二十數年になつてゐるが其間全くの在野黨となつたのは大隈內閣の二年半であつて、其の以外は朝に在ると野に在るとを問はず國政の重きに任じたのである、昨年不幸にして我黨內閣が不統一の故を以て辭職するや加藤友三郎氏により超然內閣の成立を見たのである、之を見たのである之を見て憲政會は憲政常道に反すと稱し盛んに反對したが、世界の歷史に鑑みて議會の五分の一にも滿たざる少數黨が內閣を組織する如き前例は何れにも無い、我國の政黨政治の行はれざるは憲政會が無氣力であり、無勢力であつて無責任なる言動を弄するからではないか

（此項未完）

舊正月十七日 日曜 辛酉 大安 危 房宿 新二月九日

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 一部の同情はありとも大體は注意すべき日▲二黑 安全第一の道をえらんだ積りにても苦勞あり▲三碧 物事勵みて利あり引込み思案は後をからす▲四綠 注意し居りても不圖人のはなしに乘り易き日▲五黃 自制して放じようにすれざれば大なる過誤無し▲六白 勞害を常と思ひて勵む時は成果を見るべし▲七赤 我意專斷は總ての失敗を招く基となるべし▲八白 月も滿つればかくる何事も八分に滿足せよ▲九紫 一時のとぼしきを忍ぶ時は福祿自ら巡り來る

舊正月十八日 月曜 壬戌 赤口 成 心宿 新二月十日

▲一白 災禍しきりに至りて處置に窮す焦れば更に凶▲二黑 不利の立場となりても責任を盡すに努めよ▲三碧 どろ田にふみ入りて自由を失ふが如き危險日▲四綠 因じゆんこ息に陷りて物事捗らざること多き日▲五黃 衆を指揮する地位に在るも溫じうを旨とせよ▲六白 人心和同し業務榮え發達を遂ぐる幸運の日▲七赤 和氣一家に滿ちて名利を得益々向上する日▲八白 氣運平らかなるに安んじ無理をせばかたむかん▲九紫 希望にもえまい進努力して効果すこぶる大なる日

（小名濱驗潮所調査）

九日 日出 六、三二 月出後 七、〇〇 日沒 五、一一 月沒前 七、〇三 滿潮 前五、二〇 後四、四〇 干潮 前一一、二〇 後一一、二〇

十日 日出 六、三一 月出後 七、五六 日沒 五、一二 月沒前 七、二八 滿潮 前五、四〇 後五、一五 干潮 前一一、四〇 後一一、五〇

內外 建築材 建具材

磐城國平町（公園下）

入 阿部材木店

阿部好利 改メ（章）

電話四九四番

妻藤江儀去ル九月以來健康勝レス靜養中ノ處去ル六日午前一時心臟痲痺ニテ死去仕リ候ニ付此段御通知申上候

追而二月九日正午ヨリ午後二時迄自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式相營可申候、尙故人ノ遺志ニ依リ乍勝手途中行列ヲ廢シ近親者ノミニテ葬送可仕供物等一切堅ク御辭退申上候

二月六日

福島縣平町田町

夫 新田目春松

兄 新田目善次郎

靑光院瑞園徹應大姉葬送の際は遠路御會葬被成下且御鄭重なる弔辭御香奠を賜はり御芳志の段難有奉深謝候拜趨御禮可申述の處乍略儀紙上を以て茲に謹みて御禮申上候 敬具

昭和十一年二月八日

男 靑沼鋒太郎

孫 靑沼淡夫

亡父武之儀葬送の際は遠路の處御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段有難く奉深謝候一々拜趨御禮可申述の處乍略儀以紙上御禮申述度如斯御座候

昭和十一年二月八日

子 佐藤至孝

佐藤とし

親戚總代 若松武一郎